



図表-38 中部、東部、西部における将来の主要な道路網

(3) 観光地への誘客力向上と野菜王国を支える交通基盤の整備

観光と農業を中心とする吾妻・利根沼田地域の交通基盤の整備を推進します。

国際観光地や高原キャベツの一大生産地である吾妻地域の利便性向上のため、高速交通網の空白地帯を解消する地域高規格道路（上信自動車道）や栃木県日光市と本県沼田地域を結び観光ルートとして重要な国道120号椎坂バイパスをはじめとする吾妻軸、尾瀬軸及び三国軸の整備について、開通予定年度を明示した上で継続的に整備を推進します。

全国でも有数な温泉地と農業の6次産業化*の取り組みやブランド化した農産物など新たな観光資源を支え、首都圏からの誘客増を目指すとともに、広域的な移動性と安全性を向上させる道路ネットワークを整備し、日光や軽井沢などの国際観光地から海外観光客の獲得を図ります。

世界遺産への登録を目指している「富岡製糸場と絹産業遺産群」については、各市町の地域づくりの方針を踏まえ、観光振興に必要な支援を行っていきます。



※平成22年度データ。ただし富岡製糸場は平成24年1月～12月までを集計。

図表-39 群馬県及び周辺観光地の観光入込客数

* 1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取り組み。

1次×2次×3次=6次産業



観光地	観光客数 H22(万人)	ICからの所要時間	
		現 状	上信整備後
①草津温泉	266	渋川伊香保IC 90分 碓氷軽井沢IC 70分	大津IC 14分
②万座温泉	54	渋川伊香保IC 120分 碓氷軽井沢IC 110分	嬬恋IC 16分
③四万温泉	34	渋川伊香保IC 60分	植栗IC 29分
④浅間高原	157	渋川伊香保IC 95分 碓氷軽井沢IC 50分	大津IC 19分
⑤伊香保温泉	140	渋川伊香保IC 20分	
⑥水上温泉	201	水上IC 4分	
⑦日光	1,140	日光IC(東照宮) 7分 今市IC(鬼怒川温泉) 21分	
⑧那須塩原	1,040	那須IC 14分	
⑨軽井沢	776	碓氷軽井沢IC 16分	
⑩八ヶ岳高原	220	長坂IC(清里) 18分	
⑪霧ヶ峰・蓼科	630	諏訪IC(蓼科) 28分	
⑫上諏訪温泉	620	諏訪IC 12分	
⑬富士五湖	950	河口湖IC(河口湖) 5分	
⑭箱根	2,000	箱根口IC(湯本) 7分	

同等の
所要時間

図表-40 首都圏の有名観光地と最寄りICからの所要時間の一覧表

(4) スマートICの設置による高速交通へのアクセス強化

スマートIC (インターチェンジ) は、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるICであり、通行可能な車両は、ETC を搭載した車両に限定されているため、一般的なICに比べて、低コストで導入できるなどのメリットがあります。

スマートICの設置により高速道路が利用しやすくなるため、一般道路の交通渋滞緩和、高次医療機関までの搬送時間の短縮、工業団地・流通団地などに接続することによる物流コストの低減や商業観光施設の集客力アップが図られます。県はスマートICの設置を検討する市町村を積極的に支援します。



図表-41 県内スマートICの計画状況

SA・PA接続型

本線直結型



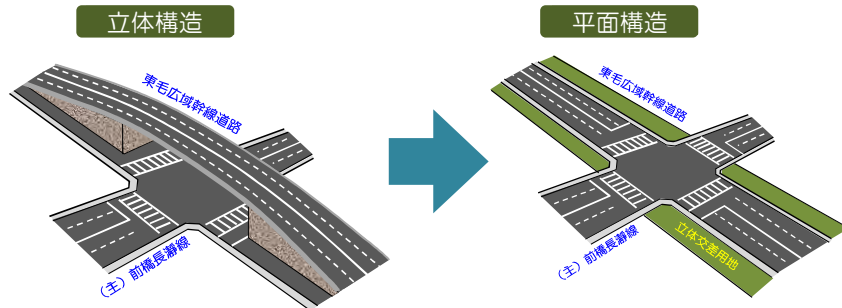
図表-42 スマートICの接続事例

(5) 建設コストの縮減による投資余力の確保

事業計画の段階から、地域の実情や将来の交通需要の予測結果などを考慮しながら、建設コストの縮減の考えを取り入れ、新規投資余力を確保します。

①立体交差構造を平面交差構造へ変更

平面構造とすることにより、橋梁等の大型構造物を省略



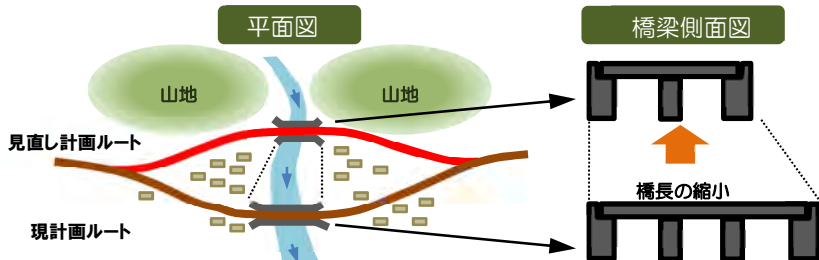
東毛広域幹線道路と(主)前橋長瀬線の交差点

【今後 10 年間の取り組み】

- 東毛広域幹線道路と(主)前橋長瀬線の交差点
- (国) 254号吉井バイパスと(主)高崎神流秩父線(矢田工区)の交差点
- 西毛広域幹線道路と(主)高崎渋川線バイパスの交差点 ほか

②構造物・残土量の最小化を目指した平面・縦断線形の見直し

平面及び縦断線形を見直し、構造物の規模縮小を図るとともに、残土や購入土等を低減



【今後 10 年間の取り組み】

- 上信自動車道 祖母島箱島バイパス
- 西毛広域幹線道路 安中工区
- (国) 120号 須賀川工区
- (国) 353号 市城工区、駒岩拡幅
- (一) 恵宝沢原貝戸線 池尻工区 ほか

③最新の交通量推計量に基づく横断計画の見直し

幅員の縮小に伴い用地買収面積及び構造物を低減(4車線から2車線に変更等)

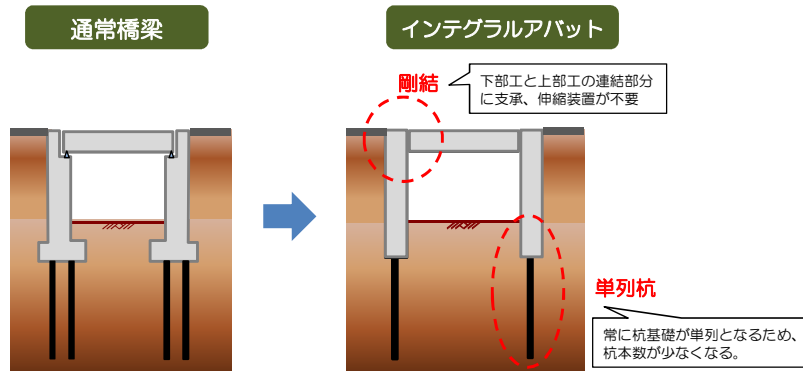


【今後 10 年間の取り組み】

- 西毛広域幹線道路 高崎西工区、安中工区
- (主) 寺尾藤岡線 山名工区 ほか

④新技術の導入による橋梁構造の変更

橋台と橋桁を一体化するインテグラルアバット構造を適用



(主) 伊勢崎深谷線 境木島跨線橋

図表-43 コスト縮減事例